

広島大学前から銀行街、西練兵場跡(郵便局)、広島神社前を経、元安川と本川の分岐点の川の中で三叉に分れている変った相生橋を渡り、左手元安川畔に原爆ドームを眺めて平和公園に入った。原爆ドームは旧産業奨励館(広島最初の鉄筋コンクリート建物であつた)で、この上空約 570m で世界最初の原爆が炸裂したといわれ、この建物だけは、安閑なきままでに破壊された当時の状況そのまま、保存されており、その惨状をしのんで眼をおおわしめる。公園内の原爆供養塔には無名の爆死者約 3 万柱が納めてあり、また正面に「安かに眠つて下さい、過ちはくり返しませんから」と刻んである墳輪型新様式の慰霊碑には約 6 万名の過去帳が安置されている。これらに黙禱をさしげながらその近くの平和記念資料館で下車、原爆による被災資料を多数の当時の遺品、写真、模型等により参観した。つぎに平和大通(100メートル道路)に出、イサム野口氏設計の平和大橋を渡り己斐(こい)の町を過ぎ、途中の名所、旧蹟、風光の説明を聞きながら一路岩国市へ向つた。

たゞ道路改修の箇所があつて于回し、所要時間 1½ 時間の予定のところ約 30 分遅れ正午岩国着、同市城山山麓の清流錦川にかゝつている錦帯橋(5つの反り橋)のたもとの河原に出、われわれのために特に出て来られた岩国市の商工観光課長や上田先生から錦帯橋の由来、そ

の世界的独創的構造の特異性等につき約 30 分興味深き懇切なる説明をうけた(時間の都合で白蛇見物は省略)つゞいて一同錦帯橋を渡つて城山側の河岸にある休憩所に行き弁当をとつた後、各自思い思いに附近を散索し、午後 1 時 55 分再びバスに分乗して引きかえし、3 時宮島口着、バスと別れ、3 時 25 分より国鉄連絡船みやじま丸により約 10 分で宮島に着いた。こゝで新しく観光案内ガールをやとい、大鳥居始め厳島神社の各所の説明をして廻つてもらつた。彼女もきれいな声で説明のうまいこと一同啓発されるどころ多く大笑いの連続であつた。例えば「大鳥居は楠の自然木で自重で海中に立つておりあの額はたゞみ 2 畳の大きさがあり、その両たもとの横木の上には石が一杯並んでいますこれは満潮の夜あそこに石をのせれば 2 人の思いがかなうと伝えられておりました……」「昔は夫婦で参拝すると縁が切れるといわれましたが、最近縁結びの神様に宗旨変えしましたので、夫婦でお参りしても離婚の心配がなくなりましたから、この次はお揃いでどうぞ……」等々。午後 4 時 15 分宝物殿前で散会、あとは自由行動で帰路についた。

最後に本班の見学に関し種々御親切に御世話下さつた広島大学の久笠氏、大坪氏、重西氏、淀川製鋼呉工場の佐々木氏の各位に深甚の謝意を表します。

(出口喜勇爾記)

### 新しくきまった JIS

G	2314—1956	カルシウムシリコン	改正
G	2315—1956	シリコクロム	〃
G	2316—1956	フェロニッケル	〃
G	3501—1956	線材	〃
G	3502—1956	ピアノ線材	〃
G	3505—1956	軟鋼線材	新規
G	3506—1956	硬鋼線材	〃
G	5501—1956	ネズミ鋳鉄品	改正
Z	2203—1956	金属材料抗析試験片	改正
Z	2246—1956	ショアカタサ試験方法(B7776を改正)	〃
Z	2271—1956	金属材料の引張クリープ破断試験方法	新規
Z	2272—1956	金属材料のクリープ破断試験方法	〃